



ANNUAL REPORT 2020



お問い合わせ 宮城大学 復興人材育成プログラム推進室

大和キャンパス

宮城県黒川郡大和町学苑1-1 TEL:022-377-8649

太白キャンパス

宮城県仙台市太白区旗立2-2-1 TEL:022-245-1642

Email: cp-suishins@myu.ac.jp (受付時間／平日9:00~17:00)

宮城大学 フィールドワーク系科目
地域連携型実践教育プログラム
アニュアルレポート 2020

宮城大学 復興人材育成プログラム推進室



地域とともに学ぶ。



地域とともに育む未来 — 東北から発信する持続可能な地域・コミュニティー

東日本大震災から10年を迎えます。私たちの目に映る震災復興はほぼ完成したかに見えますが、「心の復興」を含めた真の復興は、まだ道半ばと言えるでしょう。震災は地域に甚大な被害を与えましたが、その一方で、私たちに「地域・コミュニティの価値」や「人と人の関わり・つながりの重要性」を再認識させる契機となりました。また、いくつかの被災地においては、復興をきっかけとした新たな取り組みの中で「希望」も生まれてきています。

コミュニティ・プランナープログラムは、阪神・淡路大震災の復興に取り組む兵庫県立大学と東日本大震災の震災復興に取り組む宮城大学が連携し、地域に根ざす公立大学として、これからの地域の担い手を育てていく「地域連携型実践教育プログラム」です。本プログラムは、文部科学省の補助事業としてスタートし、2017年度の大学改革において、全学群必修科目の地域フィールドワーク、コミュニティ・プランナープログラムとして再構築され、4年目を迎きました。人口減少時代というかつて経験したことのない未知の世界に入り、大学は地域の未来を牽引する「知の拠点」として機能を果たしていくかもしれません。地域の未来を担う人材の育成は、大学にとって喫緊の課題です。本プログラムは、こうした地域の期待を踏まえ

ながら、学生が地域と共に学び、その経験を地域に還元していくための実践的な教育プログラムとなっています。学生自らが地域の課題を発見し、様々な学習を踏まえて、地域の解決策を提案していく力を得ていくことが本プログラムの目的です。本プログラムを履修した学生は、全課程を修了すると、卒業時に「コミュニティ・プランナー・アソシエイト」が授与されることになります。

2020年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、宮城県のみならず全国各地、全世界の人々の生活と社会に大きな影響が及ぼしました。宮城大学でも講義の実施方法を大幅に見直し、遠隔会議システムを活用したオンライン講義の実施に加え、「withコロナ」時代における新たな地域連携のあり方を模索し展開する挑戦の年となりました。これからも、これらの経験を踏まえ、宮城県や被災地の自治体、NPO、企業、市民団体等と連携を深めつつ、創造的復興の実現と持続可能な地域創造に資する人材育成を目指していきます。地域連携型実践教育プログラムから輩出される地域人材は、東北の未来を創造していく重要な礎となっていくでしょう。

宮城大学 復興人材育成プログラム推進局
代表教員

郷古 雅春

学群を横断し、さまざまな教員が関わり運営しています。

令和2年度 地域フィールドワーク 統括教員

郷古 雅春教授／大熊 恵子教授／風見 正三教授／平岡 善浩教授／
舟引 敏明教授／川島 滋和教授／小林 仁教授／西川 正純教授／
森本 素子教授／木村 三香准教授／齊藤 奈緒准教授／石田 祐准教授／
佐々木 秀之准教授／千葉 克己准教授／中沢 峻助教
ほかクラス担当教員14名

復興人材育成プログラム推進室

大和キャンパス 佐藤 加奈絵特任調査研究員／青木 茂特任調査研究員／高橋 結特任調査研究員／水野 葉子事務補助
太白キャンパス 佐伯 幸恵特任調査研究員／堀内 秀一特任調査研究員／大沼 奈々事務補助

令和2年度 コミュニティ・プランナー科目 担当教員

看護学群 安齋 由貴子教授／大熊 恵子教授／桂 晶子准教授
事業構想学群 郷古 雅春教授／風見 正三教授／平岡 善浩教授／
石田 祐准教授／佐々木 秀之准教授／千葉 克己准教授／
友渕 貴之助教／中沢 峻助教
食産業学群 小林 仁教授
基盤教育群 河西 敏幸教授

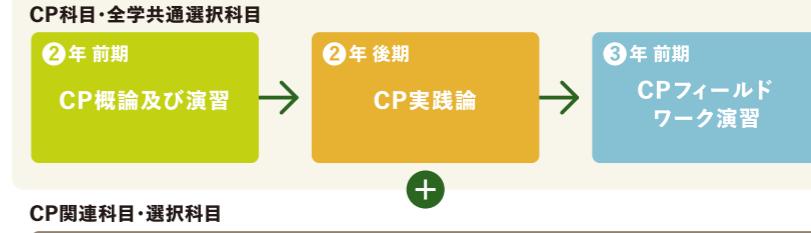
地域連携型実践教育について

地域連携型 実践教育とは

宮城大学では、地域の歴史・文化・資源を活かしたコミュニティづくりや、地域の人びととともに課題解決ができる人材(コミュニティ・プランナー)の育成を目指す教育プログラムを実施しています。1年次に全学必修科目「地域フィールドワーク」、2~3年次に全学共通選択科目「CP概論及び演習」「CP実践論」「CPフィールドワーク演習」を開講し、主に「講義(座学) + フィールドワーク(実践)」の形式で学びを深めていきます。地域コミュニティの現場に触れ、自らの目でみて・聞いて・体験し、学習することで、地域の人びととともに考えながら、地域本来の良さを活かした、これからのコミュニティづくりの実践手法を習得していきます。

カリキュラム概要

基盤教育・全学必修科目



コミュニティ・
プランナー・
アソシエイト

コミュニティ・
プランナー／
コミュニティ・
プランナー
プログラム

現在、公共機関のまちづくり分野、福祉や医療、商業や農業など、あらゆる分野において、地域主体の視点を持った人材が求められています。本プログラムでは、コミュニティ・プランナーとして、地域が抱える多様な課題の解決や、地域が求める多様なコミュニティづくりに貢献できる人材の育成を目指し、教育プログラムを展開しています。

単位について

基盤教育科目の「地域フィールドワーク」1科目2単位、CP科目の「CP概論及び演習」「CP実践論」「CPフィールドワーク演習」の3科目6単位、各学群既存科目である「CP関連科目」のうち2領域以上から6科目12単位以上を履修します。合計20単位以上を履修することで卒業時に宮城大学と兵庫県立大学の連名で「コミュニティ・プランナー・アソシエイト」の称号が授与されます。

GREENの視点

持続可能(サステナブル)な地域コミュニティを構築し、維持していくためには、緑ある環境をベースにして、人、植物、動物、全ての生命(いのち)がつながり、関わり合うことが必要です。このような、すべての生命(いのち)のつながり、関わりを意味するものを「GREEN」として、本プログラムにおける新視点として設定しています。

宮城県内自治体との連携

地域連携型実践教育プログラムの開講科目では、

フィールドとして宮城県内各地の自治体にご協力をいただき、講義を実施しています。

フィールドワークでの調査やヒアリング、自治体職員や地域の方からのレクチャーなど、
地域との連携を深めながら実践的な学びのプログラムを展開しています。

■2014年(平成26年度)

大崎市(古川) CP概論／CP基礎演習

■2018年(平成30年度)

美里町 地域FW／CP実践論

東松島市 地域FW

■2015年(平成27年度)

大崎市(鬼首) CP概論／CP基礎演習

大崎市(古川) CP実践論

■2016年(平成28年度)

大崎市(岩出山) CP概論／CP基礎演習

大崎市(鬼首) CP実践論

大崎市(古川) CPFW演習

■2019年(令和元年度)

大崎市(松山) 地域FW／CP実践論

加美町 地域FW

美里町 地域FW

女川町 地域FW

■2017年(平成29年度)

大和町 地域FW

富谷市 地域FW

利府町 地域FW

蔵王町 地域FW

大崎市(岩出山) CP実践論

大崎市(鬼首) CPFW演習

■2020年(令和2年度)

大崎市(田尻)

地域FW

女川町

地域FW

亘理町

地域FW／CP実践論

白石市

地域FW／CP実践論

石巻市(牡鹿)

CP概論及び演習／CP実践論

富谷市

CP実践論

大崎市(古川)

CPFW演習

大崎市(鳴子)

CPFW演習

仙台市

CPFW演習

丸森町

CPFW演習



宮城大学と兵庫県立大学との連携

阪神・淡路大震災および東日本大震災からの復興に取り組む兵庫県立大学と宮城大学が、

密接な連携体制のもと、コミュニティ・プランナープログラムの構築を進めてきました。

現在でも被災地に立地する公立大学として互いの強みを生かし、プログラムを共同で展開しています。

兵庫県立大学

宮城大学

▶ 神戸商科キャンパス
(大学本部・経済学部・経営学部 ほか)

▶ 姫路工学キャンパス(工学部 ほか)

▶ 播磨理学キャンパス(理学部 ほか)

▶ 姫路環境人間キャンパス
(環境人間学部 ほか)

▶ 明石看護キャンパス(看護学部 ほか)

▶ 淡路緑景観キャンパス
(緑環境景観マネジメント研究科 ほか)

(ほか、9つのキャンパス)



令和2年度前期(1年次 全学群必修科目)

[地域フィールドワーク]

オンライン講義 / 指定日開講・集中講義
全7回 / 履修学生:444名



[フィールドから学びや気づきを得る]

宮城大学における基盤教育に位置づけられ、1年次の全学群必修科目として開講しています。

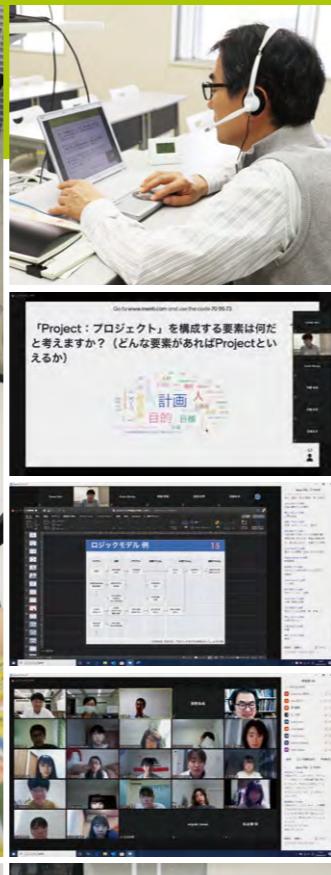
地域の自然・歴史・文化等を学びながら、グループワークやフィールドワークを通して地域の魅力や課題など、様々な気づきを促します。地域社会の将来に対する使命感を涵養し、今後の大学生活における主体的な学びに向けた動機づけとすることも目指しています。

令和2年度は、大崎市(田尻地域)、女川町、亘理町の3自治体をフィールドとしました。自治体のご協力のもと、看護学群、事業構想学群、食産業学群の学生444名が受講し、指定日・集中講義形式で開講した講義を通して、フィールドとの関わりから学びや気づきを得ました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、遠隔会議システム(Zoom)を活用した講義を実施しています。本講義では、地域の事業者等へのインタビューで構成する教材動画の視聴や自治体職員の方々とのディスカッション、学生同士によるグループワークをはじめ、学生各自が設定したテーマから地域を捉え、基礎的な調査に取り組みます。講義の総括として、テーマ設定の背景・目的・調査結果・分析等をまとめた「地域調査のまとめ」を作成し、プレゼンテーションを行いました。また、講義終了後には、希望者による課外フィールドワークを実施し、実際に地域へ足を運び、地域で活躍する企業やNPO・住民団体・観光地・主要施設などを訪問しました。実体験から地域における気づきを深め、主体的な学びへとつなげていきます。

[CP概論及び演習]

オンライン講義 / 毎週水曜5限開講
全15回 / 履修学生:110名



※今年度はオンラインにて講義を実施(対面講義の写真は2018・2019年度の様子)

[必要な基礎知識の習得]

コミュニティ・プランナープログラムの2年次前期の科目として、開講しています。

調査・企画力、ワークショップ運営やヒアリング技術など、コミュニティ・プランナーとしてフィールドに出た際に必要なリテラシーを学び、地域の方々のパートナーとして課題解決に貢献できる基礎知識の習得を目指します。

地域コミュニティについての基礎的知識を得たうえで、自身とコミュニティの関わり方について個人ワークで検討し、コミュニティ・プランナーの役割や姿勢について捉えていきます。地域の現状を把握する手法として、地形・空間・生活の視点をテーマに、それぞれの専門分野の教員から、地域の多様な捉え方を学びます。また、地域における活動者をゲストに迎え、それぞれの

活動を事例としてご紹介いただき、活動のきっかけや想い、捉えている課題、活動の仕組み、地域との関わり方をはじめ、コミュニティ・プランナーとして活躍する方々の考えに触れて、素養への気づきを得ました。教員及びゲストによるレクチャーを踏まえて、地域におけるプランニングに必要となるリテラシーの一つとして「プロジェクトマネジメント」を学び、個人ごとにマイプロジェクトの検討・作成に取り組むことを通じて、プランニングの基本的な手法や考え方について理解を深める機会としました。今年度は、遠隔会議システム(Zoom)を用いて講義を実施し、レクチャーや個人ワークをはじめとした座学を中心に、学生同士のグループワークやディスカッションから、コミュニティ・プランナーのイメージを掴んでいきました。

[CP実践論]

対面・オンライン講義 / 毎週水曜3限開講
全15回 / 履修学生:63名



[トップランナーから実践を知る]

「CP概論及び演習」に続く2年次後期の科目として開講しています。地域コミュニティに関わる専門家とのフィールドワーク、講義における事例把握や実体験を通じて、地域活性策を実行するプロセスへの理解を深め、より実践的な知識や技術の獲得と学びの深化をねらいとしています。

令和2年度の履修学生は、大和キャンパスでは白石市、太白キャンパスでは亘理町をフィールドとし、自治体や地域の方々のご協力のもと、講義を実施しました。本講義では、復興・地域づくりの実践者や、フィールドとなっている自治体職員の方々による、実践報告や地域に関するレクチャーを通して、地域についての知識や理解を深め、サイトビギットに向けた準備に取り組むとともに、コミュニティ・プランナーの果たすべき役割について

の学びを深めていきます。現地調査となるサイトビギットでは、事前の学習や基礎的な調査、プロジェクトテーマの検討に基づき、実践者へのヒアリングや現場の観察を行いました。フィールドで情報収集を行い、プロジェクトの企画・検討につなげていきます。サイトビギットを踏まえて、今年度は、白石市及び亘理町における「交流人口の拡大」を目標としたプロジェクトの検討に取り組み、具体的なアイデアの創出や企画から提案に向けたプロセスを学び、報告会に向けたプロジェクトの検討とまとめを行いました。最終講義では、検討したプロジェクトについてプレゼンテーションを実施し、検討結果についてお世話になった地域の方々へ報告する場としました。

[CPフィールドワーク演習]

対面・オンライン講義 / 指定日開講・集中講義
全15回 / 履修学生:45名



[知能を技能に変える実習]

コミュニティ・プランナープログラムの学群教育における最終科目として「CPフィールドワーク演習」を開講しています。コミュニティ再生の実践的経験を通じて、コミュニティ・プランナーとしての職能を理解しつつ、様々なステークホルダーとの協働手法を習得することを目指しています。

本科目の履修学生は、大和・太白の両キャンパス合わせて、計8つのグループに分かれ、大崎市古川地区、石巻市牡鹿地区、萩浜地域、仙台市青葉区中心街、仙台市泉区根白石地域、仙台市太白区坪沼地域、富谷市、白石市の7地域をフィールドに、地域における企画の検討から実践を通して、プロジェクトベースで学修しました。自らが選択したフィールドやテーマについて、フィールドワークを通して地域を調査するとともに、地域住民の

みなさまをはじめとしたステークホルダーとの調整、地域課題解決に向けたアプローチの検討について試行錯誤を重ね、プロジェクトの立案、実践へとつなげていきます。地域との関係性を育み、地域との関わりからコミュニティ・プランナーとしての気づきや学びを深め、講義終了後も、研究や活動を通して継続した地域での取り組みにつなげていこうとする学生の主体的な動きも見られています。

今年度は、対面に限らない調査手法を積極的に導入し、SNSを用いたアンケート調査や広報、電話や遠隔会議システムを用いたヒアリングに挑戦するチームもあり、社会状況に応じて試行錯誤を重ねる様子や課題解決に向けたアプローチの検討も多く見られました。



兵庫県立大学との連携

CP科目合同発表会及び交流会

令和2年12月20日(日) 13:00 - 15:10

兵庫県立大学と宮城大学の学生が、遠隔会議システム(Zoom)を使って、CP実践論・CPFW演習の合同発表会及び交流会を実施しました。宮城大学と兵庫県立大学の3年生が、講義を通して検討したプロジェクトやプロジェクトの実施による成果を発表したのち、兵庫県立大学の1、2年生も交えたグループに分かれ、ディスカッションに取り組みました。



CP科目合同発表会及び交流会(前年度の様子)
※今年度はオンライン開催

活動実績・メディア掲載

2017年(平成29年度)

WEB媒体(自治体)

- ▶大和町Webサイト掲載
宮城大学地域フィールドワーク「宮城大学生がまち歩きを実施」
[\(地域フィールドワーク\)](https://www.town.taiwa.miyagi.jp/soshiki/matissei/5419.html)
- ▶富谷市Facebookページ掲載 6月17日、7月1日、7月8日、8月8日(地域フィールドワーク)
- ▶大崎市Webサイト掲載
大崎市 フォトニュース「宮城大学生が大崎市の地域活性化のため活動しました」
[CP科目
自治体広報誌](http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/35,22400.html)
- ▶広報たいわ 8月号掲載「宮城大学生がまち歩きを実施」(地域フィールドワーク)
- ▶広報りふ 8月号掲載「利府町×宮城大学 連携事業 地域フィールドワーク」
- ▶広報たいわ「たいわのわ」連載 平成29年10月号～平成30年2月号
(地域フィールドワーク7月1日講義)
- ▶東北放送 Nスタみやぎ 平成29年7月1日放送
(地域フィールドワーク7月1日講義)

新聞

- ▶河北新報 平成29年8月21日掲載(地域フィールドワーク8月8日講義)
- ▶日本経済新聞 平成30年1月27日掲載(地域フィールドワーク)
- ▶日本経済新聞 Web版 平成30年1月27日掲載(地域フィールドワーク)
- ▶河北新報 平成30年1月28日掲載(復興人材育成セミナー)

事例集

- ▶一般社団法人公立大学協会(2018)
「公立大学の地域貢献機能 地域貢献プログラムの“LEAD”による事例分析」
- p.9 宮城大学自治体との協働による被災地域の復興・再生・発展を担う人材育成プログラム

2018年(平成30年度)

WEB媒体(自治体)

- ▶白石まちづくり株式会社 蔵富人
Facebookページ掲載 6月6日(地域フィールドワーク)
- ▶美里町 起業創業サポートセンター kiribi Facebookページ掲載
4月25日、6月6日(地域フィールドワーク)、10月17日(CP実践論)

自治体広報誌

- ▶市報ひがしまつしま 7月1日号掲載(地域フィールドワーク)

テレビ

- ▶ミヤギテレビ OH!バンデス 平成30年6月18日放送
(地域フィールドワーク6月6日講義:東松島でのフィールドワークの様子)
- ▶東北放送Nスタみやぎ 平成30年11月15日放送
(CP実践論11月14日講義:丸森町でのフィールドワークの様子)

新聞

- ▶河北新報 平成30年10月28日掲載(CP実践論10月24日講義:美里町)
- ▶河北新報 平成31年1月18日掲載(CP実践論1月9日講義:最終報告会)
- ▶河北新報 平成31年2月18日掲載
(復興人材育成セミナー2月9日:宮城学院女子大学×宮城大学合同活動報告会)

事例発表等(学会等)

- ▶郷古 雅春、中沢 峻、千葉 克己、高橋 信人、佐々木 秀之(2018)
「公共施設の長寿命化計画の策定プロセスにおける産官学連携のあり方に関する一考察—大学でのPBL科目との連携に着目して」日本計画行政学会第43回全国大会

CPアソシエイト授与者の就職(内定)先名

公務員

国土交通省 東北地方整備局
岩手県
石巻市(宮城県)
大館市(秋田県)
柏崎市(新潟県)
大和町(宮城県)
登米市(宮城県)
千葉県
栗原市(宮城県)
仙台市(宮城県)

教育・医療・研究機関

京都大学医学部付属病院
国立大学法人東北大大学
東北大学病院
国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構

金融関係

(株)莊内銀行
東北労働金庫
盛岡信用金庫
(株)北日本銀行

企業・団体

会津よつば農業協同組合(JA会津よつば)
伊藤建設(株)
NECネットイノベーション(株)
NTT東日本(株)
(株)奥羽木工所
大蔵山スタジオ(株)
(株)コメリ
JA東日本くみあい飼料(株)
鈴木農場
(株)ソルブレイン
(株)DNPデジタルソリューションズ
(株)TTK
(株)東広社
東北電力(株)
なんと農業協同組合(JAなんと)
日鉄日新製鋼(株)
パーソルプロセス&テクノロジー(株)
(株)ピース三菱
福山通運(株)
マックスバリュ南東北(株)
三井住友海上火災保険(株)
ヤマカノ醸造(株)
ヤマニ建設(株)

地域連携型実践教育のあゆみ

2012年(平成24年度)

文部科学省 大学間連携 共同教育事業 採択事業
宮城大学・兵庫県立大学
「コミュニティ・プランナー育成のための実践的教育課程の構築」
試行プログラム(部会活動等)を実施

2013年(平成25年度)

コミュニケーション・プランナーカリキュラム検討、試行授業実施
試行プログラム(部会活動・兵庫宮城学生交流会等)を実施

2014年(平成26年度)

コミュニケーション・プランナー科目開講
コミュニケーション・プランナー教育センター(CPEC)運営開始
1(2)年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市古川地区):履修生144名
1(2)年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市古川地区):履修生68名

2015年(平成27年度)

2(3)年次前期 コミュニティ・プランナー実践論(大崎市古川地区):履修生15名
1年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生71名
1年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生37名

2016年(平成28年度)

地域フィールドワークカリキュラム検討開始
(10月部門設置)文部科学省 事業終了
第1期生 卒業・アソシエイト授与者3名
3(4)年次前期 CPFW演習(大崎市古川地区):履修生9名
2年次前期 コミュニティ・プランナー実践論(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生22名
1年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市岩出山地区):履修生157名
1年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市岩出山地区):履修生81名

2017年(平成29年度)

宮城県「宮城大学復興人材育成事業」にて事業実施
宮城大学 学群学類制移行
1年次 全学必修科目 地域フィールドワーク 開講
第2期生 卒業・アソシエイト授与者6名

3年次前期 CPFW演習(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生21名

2年次前期 コミュニティ・プランナー実践論

(大崎市岩出山地区):履修生18名

1年次前期 地域フィールドワーク

(大和町、富谷市、利府町、蔵王町):履修生437名

2018年(平成30年度)

第3期生 卒業・アソシエイト授与者20名
3年次前期 CPFW演習(大崎市岩出山地区):履修者12名
2年次前期 コミュニティ・プランナー概論及び演習:履修生60名
2年次後期 コミュニティ・プランナー実践論
(美里町・丸森町耕野地域):履修生43名
1年次前期 地域フィールドワーク
(東松島市・加美町・美里町・岩沼市・白石市・村田町):履修生431名

2019年(令和元年度)

第4期生 卒業・アソシエイト授与者12名
3年次前期 CPFW演習
(大崎市鳴子温泉地域・大崎市古川地区・仙台市定禪寺通り・丸森町):履修者31名
2年次前期 コミュニティ・プランナー概論及び演習
(石巻市牡鹿地区):履修者118名
2年次後期 コミュニティ・プランナー実践論
(大崎市松山地区・富谷市しんまち地区・石巻市牡鹿地区荻浜・白石市):履修者63名
1年次前期 地域フィールドワーク
(大崎市松山地区・加美町・美里町・女川町・亘理町・白石市):履修生452名

2020年(令和2年度)

第5期生 卒業・アソシエイト授与者30名予定
3年次前期 CPFW演習
(大崎市古川地区・白石市・仙台市泉区根白石地域・富谷市・石巻市牡鹿地区
荻浜地域・仙台市青葉区中心街・仙台市太白区坪沼地域):履修者:45名
2年次前期 コミュニティ・プランナー概論及び演習:履修者110名
2年次後期 コミュニティ・プランナー実践論(白石市・亘理町):履修者63名
1年次前期 地域フィールドワーク(大崎市田尻地区・女川町・亘理町):履修者444名